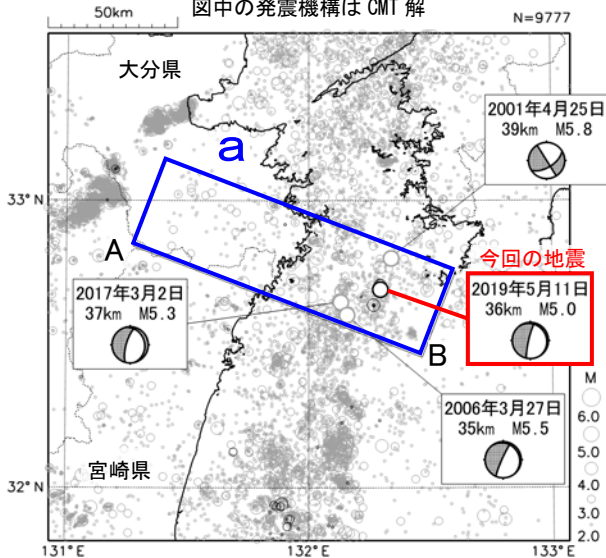
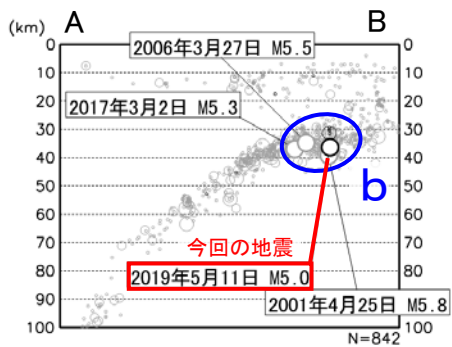


5月11日 日向灘の地震

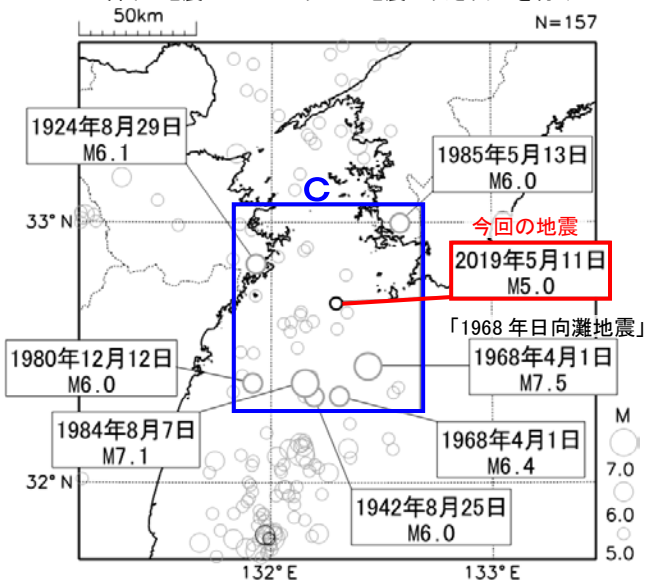
震央分布図
 (1994年10月1日～2019年5月31日
 深さ0～100km、M \geq 2.0)
 2019年5月の地震を濃く表示
 図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
 (1922年1月1日～2019年5月31日、
 深さ0～100km、M \geq 5.0)
 2019年5月の地震を濃く表示
 今回の地震とM \geq 6.0以上の地震に吹き出しを付けた

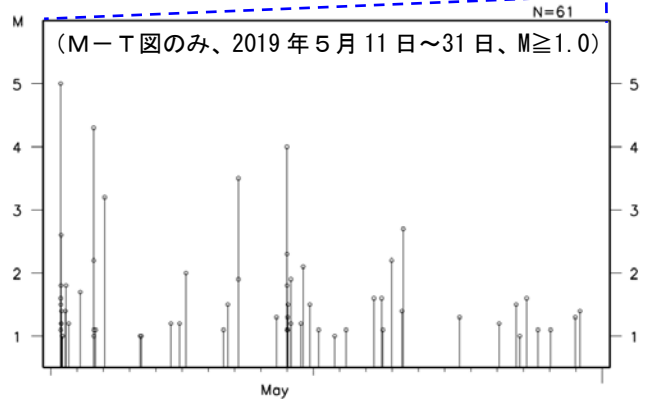
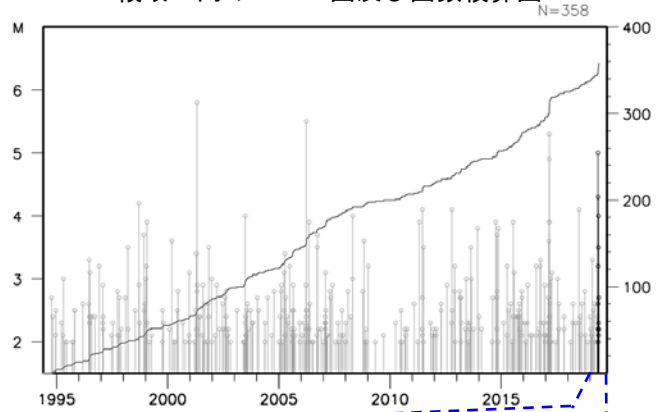


2019年5月11日08時59分に日向灘の深さ36kmでM5.0の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が東西方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）ではM5.0以上の地震が時々発生している。近年では、2017年3月2日にM5.3の地震（最大震度4）が発生した。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）ではM6.0以上の地震が7回発生している。「1968年日向灘地震」（M7.5、最大震度5）では、負傷者57人、住家被害7,423棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。また、この地震により大分県の蒲江で240cm（最大全振幅）の津波を観測した（「日本被害津波総覧」による）。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

